

1 単元名 ハンセン病について

2 授業について (ねらいや付けたい力、工夫点等)

- これまで学習したことや実際のハンセン病に関する差別の事例を通して、現在も差別が続いていることに疑問をもたせ、
- 因果関係図で差別の原因を考える活動を通して、差別をなくすためにできることを、自分事として考えさせる。

3 単元構成

- 1 思い込みについて。—— フォトランゲージで、自分の思い込みや決めつけに気付く。
- 2 ハンセン病とは？ —— 資料から、ハンセン病やハンセン病回復者の差別について知る。
- 3 なぜ差別が続くのか。 —— プレインストーミング(因果関係図)で、差別の原因を考える。
- 4 まとめ。 —— これまでの学習を振り返り、自己を見つめ実践意欲を高める。

4 本時の学習指導

- (1) 目標 思い込みや決めつけが差別につながることに気付く力
ハンセン病に対する正しい知識。
差別をなくそうとする実践意欲

A3の紙×3
カラーマジック×3
新聞記事

(2) 学習指導過程

学習活動	予想される子どもの反応	
1. 前時のふり返り。	○ ハンセン病は治る病気だったよね。 ○ ハンセン病にかかった人は、隔離され、ひどい環境にあつたことに驚いた。	○ これまで学習したことをワークシートからふり返り、本時につなげる。
2. 実際の事例から考える。		
(1) 熊本の実例	○ ハンセン病回復者だから、受け入れを拒否するのはひどい。	○ 2つの事例から、ハンセン病回復者への差別が現在も続いていることに疑問をもたせるようにする。
(2) ハンセン病差別に関する新聞記事	○ 今も根深い差別があることに驚いた。	
なぜ、ハンセン病回復者への差別は今も続いているのだろう。		
3. 因果関係図で差別の原因を探る。		
(1) グループで考える。		○ プレインストーミングで差別が今も続く理由や原因について考えるよう指示する。 ○ 他のグループの因果関係図を見せ、新しい意見や共感できる考えに印をつけるよう指示する。 ○ 他のグループから得た新しい気づきや、自グループとの共通点を話し合い考えを深められるようにする。 ○ 深められた考えをもとに、差別をなくすために自分たちにできることを因果関係図に書き込むよう指示する。
(2) 他のグループと共有する。		
(3) 差別をなくすためにできることを考える。		
4. まとめ	○ 今までの振り返りと、思い込みが相手を傷付けていたのだ。 ○ 思い込みで他人を傷付けないように、言葉に気を付けて。 ○ ハンセン病に対する正しい理解をたぐ、差別をなくした。	○ 本時を通して、差別をなくすために自分には何ができかをまとめにつなげる考えよう指示する。